

題材名 「ありがとう法蓮プロジェクト」

学校	県立奈良高校	氏名	関尾 基樹	科目	美術Ⅲ・探究美術	学年	3	時間	13
----	--------	----	-------	----	----------	----	---	----	----

1 題材の概要

2018年の県立高等学校適正化実施計画により奈良高校は法蓮校舎から朱雀校舎へ移転することになった。この題材は、法蓮校舎で学ぶ最後の在校生として学び舎の移転によって生じる地域や社会の課題と真摯に向き合うものである。生徒たちが自ら問いを立て調査、構想、交渉、制作、発表までのプロセスを通して課題に向き合う力をつけることに重点を置く。また美術の力で社会に何ができるかという「美術による社会的な価値創出」の可能性を体験的に学ぶ。加えて、本校のスクールポリシーである「自主創造の精神を承継し、自ら学び自ら考え自ら開拓する姿勢を身に付け、日本、世界のよりよい未来に貢献していく人材の育成」という教育方針と歩みを共にするものでもある。

2 題材の目標

【知識及び技能】

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。〔共通事項〕
- ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表す。「A表現」(1)イ

【思考力、判断力、表現力等】

- ・造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えたことから主題を生成し、個性を生かして発想し創造的に表現の構想を練る。「A表現」(1)ア
- ・造形的なよさや美しさ、目的や機能と調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、作品と人、地域社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深める。「B鑑賞」(1)ア

【学びに向かう力、人間性等】

- ・主体的に美術表現の創造的な諸活動に取り組もうとする。
- ・主体的に見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 造形の要素の働きを理解し、形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 技 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	発 美術の社会的な役割について考察して独創的な主題を生成し、主題に応じた表現効果を考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさ、目的や機能と調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、作品と人、地域社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	態表 主体的に美術表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 態鑑 主体的に見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

4 主な題材の学習内容と評価

学習のねらい、学習活動 ※「●」は、学習のねらい、「・」は、学習活動	評価方法
1. 導入、発想や構想 ● 地域や社会に存在する課題や現象を理解する。 ・法蓮校舎の移転という地域の現状から必要な情報を収集し分析を行い実施可能な方策についてグループで検討する。 ● 地域や社会の課題に対して独自の視点で主題を生成し、表現方法を構想し美術的手法を用いて効果的に伝える方法を考える。 ・調査の結果、「法蓮校舎を最後に見たいと卒業生の来校者が多くなった」「法蓮校舎の周辺地域の人々が移転することを残念に思っている」という声が多く寄せられたことから思い出や感謝に焦点を絞って今後の活動への見通しや具体的な実施方法を考える。 ・総務委員会(生徒会)や生徒会指導部長、書道教諭、学校長に話をもちかけ自分たちが考案した取り組みについて検証や改善を重ねる。	(主体的に学習に取り組む態度) ・地域や社会の課題を深く掘り下げ、問題意識を高く持って広い視野で捉えて創造的な活動に取り組んでいるかを見取る。【活動の様子】 (思考・判断・表現) ・課題のテーマや表現の目的、ターゲットが明確かを見取る。 ・アイデアや計画に創意工夫があるかを見取る。 【活動の様子・ワークシート】

2. 制作

- 発想や構想したことを基に創造的な制作や活動を行う。

Aチーム

- ・総務委員会主催で全校生徒を対象に校内および通学路で思い出深い場所の写真を集める「奈良高校フォトコンテスト」を実施する。コンテストで優秀な写真を10枚選び「思い出のポストカード」として業者に大量印刷を発注する。
- ・蛇腹状にした台紙に「思い出のポストカード」と探究書道選択生徒による感謝の言葉を貼り付ける。

Bチーム

- ・校舎内外の思い出深い場所やものを動画撮影・編集し奈高賛歌(創立70周年を記念して当時の生徒が作詞・作曲したもの)をBGMにした動画作品をつくる。
- 作品や創造的な活動を振り返り見方や感じ方を深める。

3. 鑑賞

Aチーム

- ・選出された10種類の「思い出のポストカード」を全校生徒と全教職員に発表し配付する。
- ・ポストカードに選出されなかった写真も予餞会の動画や総務委員会のインスタグラムで使用し公開する。
- ・「思い出のポストカード」と感謝の言葉を貼り付けた蛇腹状の作品を法蓮校舎周辺地域の人々にお別れとお礼の挨拶回りの際に配布する。

Bチーム

- ・完成した動画作品を予餞会に流し全校生徒や教職員に鑑賞してもらう。
- ・その後は「奈良高校法蓮校舎 探訪」と題してYouTubeにて一般公開する。

(知識・技能) (思考・判断・表現)
 ・美術的要素を効果的に活用しているかを見取る。
 ・表現方法が適切で表現の見せ方に説得力があるかを見取る。
 【活動の様子・作品】

(主体的に学習に取り組む態度)
 ・表現に対する責任感が得られたかを見取る。
 ・学びの自覚と共有姿勢が得られたかを見取る。
 ・他者の視点から題材の有効性を検証できたかを見取る。
 ・発表や展示、様々な人との対話を通じて、自分たちの表現が誰かに届く経験をし、美術の社会的意義や手応えを感じたかを見取る。
 【活動の様子・作品・ワークシート】



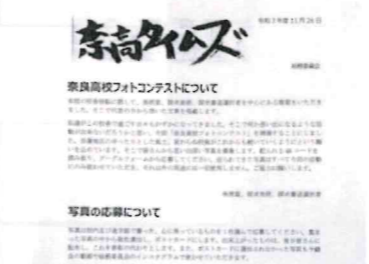
総務委員会との打ち合わせ風景



学校長との打ち合わせ風景



書道教諭との打ち合わせ風景



全校生徒への配付資料①



全校生徒への配付資料②



書道選択生徒との共同作業



Aチームの制作風景



フォトコンテストで選出された生徒たちの写真



書道選択生徒との共同作品